事例No.	2885
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	埼玉県横瀬町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

事例14 埼玉県横瀬町―よこらぼ

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第3回）

事例14　埼玉県横瀬町－よこらぼ

団体名	よこらぼ（横瀬町とコラボする研究所）	運営形態	その他（公民連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ）
活動範囲	所在市区町村全域		

【取組み概況】

○横瀬町をフィールドに**様々な活動を行いたい法人・個人**のため、町が**「よこらぼ」を設置**し、提案を受け付け、審査※を通過した案件については、地域との橋渡し、行政手続きなど**活動を全面的にサポート**。
※庁内に、町職員、議会、行政区長会、商工会議所等から成る審査委員会を設置。

○これまでに225件の提案、**135件が採択**されている。提案者の属性は、５割弱が中小企業・スタートアップ。４割強が法人。１割強が個人である。また**７割強が県外に拠点**を置く。採択事例は、医療、食品、鳥獣害対策、教育、関係人口と幅広く公民連携を促進、よこらぼの取組みが町の活性化に大きく寄与。

○医療では、町の小児科不足を補填するためオンラインで**医師と相談できるシステム**を導入し、また食品では、耕作放棄地の拡大を防ぐため、特区認定による町内米を活用した**「どぶろく」製造**など支援。

○鳥獣害対策では、町外の狩猟に参加したい者と**地元の猟友会を結び付ける**とともに、更に解体施設も建設もサポートし、ジビエ加工に繋げる。教育では、子どもの**第３の居場所づくり**を行いたい提案者に、事業実施場所を提供。不登校生徒対策に取組む。

○関係人口では、農協の跡地を活用・改修し、地域の人も地域外の人も気軽に集まれるスペース「エリア898」設置。**関係人口の居場所づくり**を行っている。

【設立の経緯】

○人口減少を背景とした町の衰退に危機感を持ち、今までと同じ事をしていては将来は変えられない。町という**コンパクトで機動性が高い**ことを強みに、外から**様々な資源を町に呼び込み**化学変化・活性化を促すことを目的に平成28年に公民連携プラットフォームとして「よこらぼ」を設置。

【行政との関わり】

○「よこらぼ」は庁内のまち経営課が担当。提案受付、審査、庁内関係課との連携、必要によっては国県等への申請も対応し、提案者の活動をサポート、**「日本一チャレンジする町」**をめざす。

○現在、**「よこらぼ」は休止**し、町の未来を変えるという目的にあらためて向きあい、これまでを総括、ブラッシュアップしたうえで、令和６年４月から**新たに「よこらぼ」を再スタート**予定。